

2020年6月4日

和歌山県教育長 宮崎 泉 様

日本共産党和歌山県議団

日本共産党和歌山県地方議員団

学校再開にあたって学習・入試への不安に応えるための申し入れ



新型コロナウイルス感染症による学校の長期臨時休業は、各方面に多大な影響を与えています。先行きの見えない中で、児童・生徒や保護者の不安は計り知れないものとなっています。そうした状況の下、影響を最小限に抑えようとする教育関係者の取り組みに敬意と感謝の意を表します。

日本共産党県議団と地方議員団は、新型コロナウイルスの影響が長期にわたる見通しの下、学校再開後の児童・生徒や保護者から出されている学習や入試への不安に応えるための特別の対策が必要だと考えています。このような立場から以下の点について申し入れるものです。

記

- 1、 学習の遅れを取り戻すためであっても無理な詰めこみ教育はさけること。そのために学習指導要領の弾力的運用と学習内容の精選をおこない、各学校の創意工夫を保障されたい。

- 2、 県立高校入学者選抜試験の出題範囲を見直し、早々に公表すること。
- 3、 再度の臨時休業となった場合でも学校間格差がでないような対策をされたい。
 - ・小規模校などでは、オンライン授業への対応が困難なため県教委でコンテンツを作成し、テレビ和歌山やNHKの協力も得て放送する又は動画サイトやDVDでの提供をおこなうこと。
- 4、 感染への不安から登校できない児童・生徒に対して学習権を保障されたい。
- 5、 各市町村からの教職員などの人員増要望に十分な対応をされたい。
- 6、 大学入試センター試験でも臨時休業の影響を考慮した対応を国に要請すること。

以上